

(2) 会派代表 日本共産党

質問者議員 駄場中 大 介

件名 1 多様性をはぐくむ社会に。日本は国連から様々な人権問題について勧告を受けています。社会的少数者の人権が守られる社会は、誰もが安心して暮らせる社会です。

要旨 1 排外主義は許されない。

- (1) 排外主義について市長はどう考えていますか。
- (2) 先の参議院選挙で「生活保護の1/3が外国人」や「健康保険タダ乗り」などデマやフェイクが流され、外国人と犯罪が短絡的に結び付けられてきました。そのような事実はあるのか。また、外国人の納税実態はどうなっていますか。
- (3) 赤峰や高向・上原地区の産業用地をはじめ、外国人労働者の増加が見込まれますが、現状は。多文化共生社会を目指し、事実を知らせるとともに多言語標記など共存の環境を。

要旨 2 性的マイノリティの方の人権と生活向上を。

- (1) L G B T Q +の方の割合は。
- (2) 市民への理解促進の機会の拡大を。
- (3) 同性婚を求める人が困っていることは何か。各市条例の事実婚規定について、市の裁量と解釈で乗り越えられるものはないか。
- (4) 職員・教員への講習の充実を。

要旨 3 包括的性教育の立場に立って。

- (1) 生理用品を小学校のトイレ個室にも配置を。
- (2) 性と生殖に関する健康と権利の立場からの性教育を。

要旨 4 不登校の子どもに寄り添って。

- (1) 全小学校に支援ルームと支援員の配置を。
- (2) 学びの多様化教室「ゆう☆ゆうスペース」のボランティアの謝礼は最低賃金以上にすべき。
- (3) 通学費の補助を。

(4) フリースクールとの連携を。スキルアップも連携を。

(5) フリースクールや子どもの居場所に財政的な支援を。

要旨 5 朝の子どもの居場所を。

(1) 朝食の提供も含めた、朝の子どもの居場所づくりを。

要旨 6 ブラック校則をなくし、子どもが主人公になり校則の策定を。

(1) 意義の説明ができない校則はないか。

(2) 管理的立場からの校則でなく、子どもが主体的につくる校則に。

要旨 7 教育の機会均等の保障を。

(1) 高校入学準備金の構築を。

(2) 給付型奨学金も視野に。

(3) 企業が奨学金返済を援助する仕組みづくりの推進を。

要旨 8 庁内のハラスメントに関するアンケート調査はどうなっていますか。

件名 2 自然とともに暮らすまちに。

要旨 1 リサイクル率府内 1 位を目指して。

(1) リサイクル率や府内順位が下がってきている原因は。

(2) 剪定枝を資源ごみとして収集を。

(3) コンポスト補助などの創設を。

(4) プラスチックごみの回収回数を増やしてください。

要旨 2 農業の担い手を全国に募集する提案をしましたが、進捗は。

件名 3 バス路線廃止の不安に答えよ。

要旨 1 大幅に廃線となる地域に住民説明会の開催を。

要旨 2 社会福祉法人による移動支援など、異なる運営主体でのバス運行でフォローアップを。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者